

海賊対処行動派遣部隊がアデン湾に向け出航

～ 派遣海賊対処行動水上部隊（第47次隊）出国行事の様相 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処行動のための第47次派遣海賊対処行動水上部隊の出国行事が2月1日に開催され、今回が5度目の海賊対処行動任務となる護衛艦「さざなみ」が広島県呉から出港した。同艦は伴昌行艦長が指揮を執り、中東地域における情報収集活動も兼務することとしている。

「さざなみ」には、ソマリア周辺海域派遣捜査隊を編成する海上保安官8名を含め、約200名が乗り組み、現地において、活動中の第46次部隊の護衛艦「あけぼの」と交代することとなる。

式典では川村伸一自衛艦隊幕僚長が、ソマリア沖・アデン湾における船舶の護衛に関しては、昼夜を問わない献身的な任務遂行によりこれまでも国内外から高い評価を受けているところ、今次派遣隊においては、フーシ派の活動等により現地で緊張感が高まる中ではあるが、一丸となり誠実に任務に取り組むよう、自衛艦隊司令官の訓辞を代読した。また、こうした状況下で派遣員を送り出す列席の隊員の家族等に対し、自衛隊活動への理解に深い感謝の念が告げられた。続いて、渡邊保範海上保安監は、海上自衛隊とともに豊かな海を守るよう挨拶を行った。

当協会からは土屋恵嗣副会長が日本関係商船の保護を引き続きよろしくお願ひしたいと、活動への感謝と乗員の無事を祈る旨を伝えた。

「さざなみ」を率いる伴艦長は、与えられた任務を遂行し、無事帰国を果たす決意を述べた。

その後、約600人の出席者は小雨の残る岸壁に移動し、登舷礼で出航する「さざなみ」の安全航海と乗員の無事を祈りつつ、見送りを行った。

出国行事



海運業界からの式典参加者（右から3番目：
当協会土屋副会長、4番目 国船協井上会長）



式典会場全景（約600名が参列）



川村自衛艦隊幕僚長による訓辞代読



渡邊海上保安監挨拶



隊員に謝意を伝える土屋副会長



答礼を行う伴艦長



岸壁での出港見送り



「さざなみ」ソマリア沖・アデン湾へ向け出港